

## カムイワッカ駐車場における混雑予測と渋滞シミュレーション

### 1. カムイワッカ地区の駐車容量

1-1 の前提においてカムイワッカ地区の駐車容量を推定する。4の滻までの利用がはじまり、カムイワッカの平均的な滞在時間は従前の2~3倍(60分~90分)に増加したと見積もられる。また、管理用プレハブの設置等により駐車マス数は5台程度減少した。これらの事情により、最も効率よく駐車スペースが稼働したとして、1日で駐車可能な台数は90台~126台と見積もることができる(1-3)。

実際の運用においては、来訪者は均等に訪問するわけではなく、滞在時間などもおおきくばらつく。これらを想定して稼働率80%水準を想定すると、最小67台~最大100台程度が現在のカムイワッカ地区の駐車可能台数の上限と推定される。

#### 1-1 駐車台数等の情報

	2023年度以降	2022年度以前
駐車台数	18台	20台~25台
平均滞在時間	約60分~90分	約30分
営業時間	9時~16時(7時間)	設定なし

#### 1-2 駐車場回転数

滞在60分の場合: 420分(7時間) ÷ 60分 = 7回転

滞在90分の場合: 420分(7時間) ÷ 90分 = 5回転

#### 1-3 最大駐車台数

60分滞在: 18台 × 7回転 = 126台

90分滞在: 18台 × 5回転 = 90台

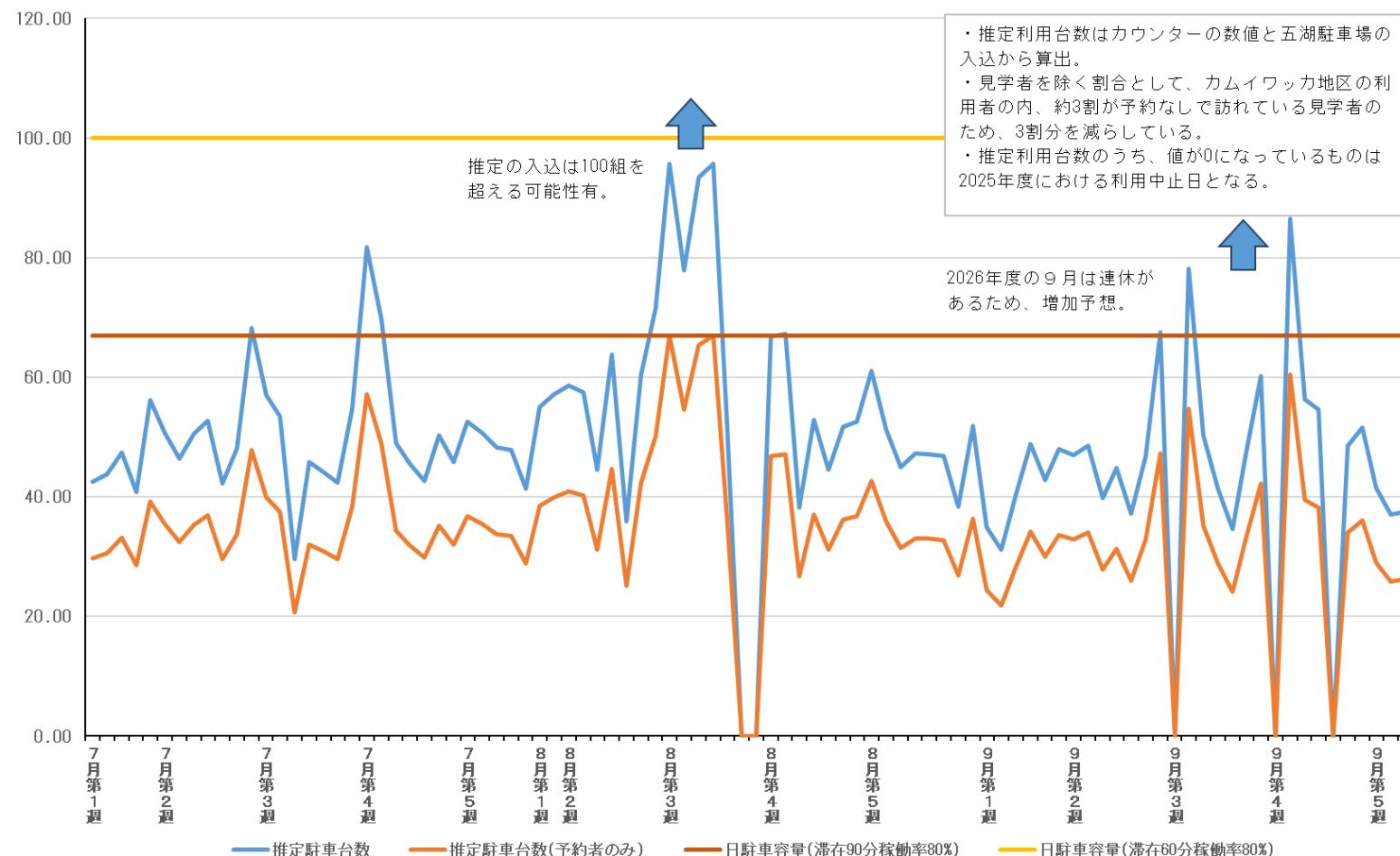
#### 1-4 稼働率別の予測利用台数

稼働率	駐車可能台数(滞在60分)	駐車可能台数(滞在90分)
100%	126台	84台
90%	113台	76台
80%	100台	67台
70%	88台	59台

## 2. カムイワッカ地区の入り込み予測

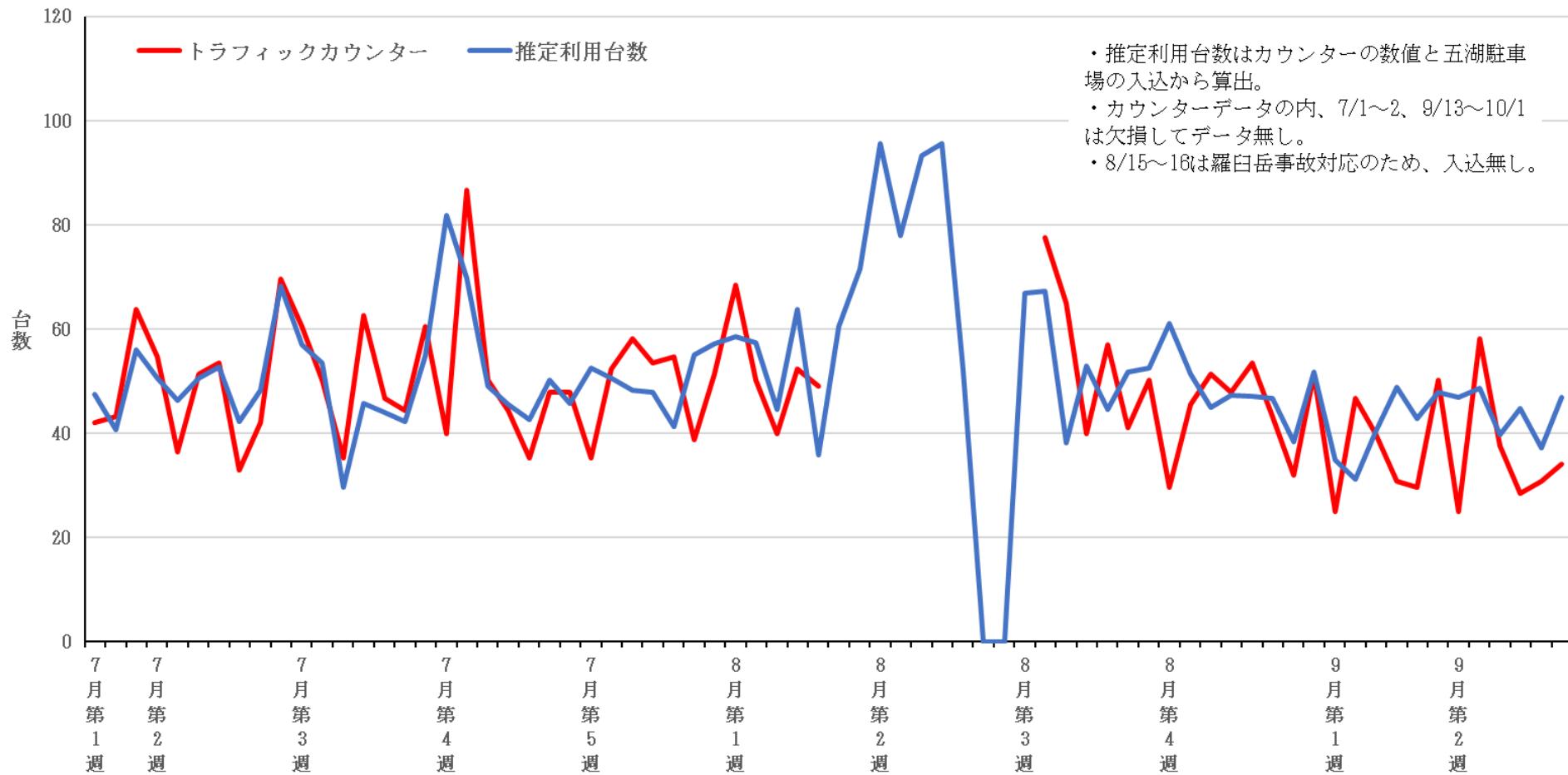
2025年度の入り込み実績を基に、カムイワッカ地区の駐車需要を推定する（下図）。

- ・予約者のみが利用する場合、現行の駐車容量でも渋滞はほとんど発生しないと推定。これに一般の見学車両などが加わると、連休などは渋滞の恐れが強まる。
  - ・2025 年度の予約の最大日は 8/12(火)の 81 組。マイカー規制を設けない場合、100 組を超える利用が想定される。
  - ・2026 年度の 9/19～9/27(第 3～4 週)については、最大で 9 連休の大型連休となる可能性があり、8 月のお盆同様の入込みが想定される。



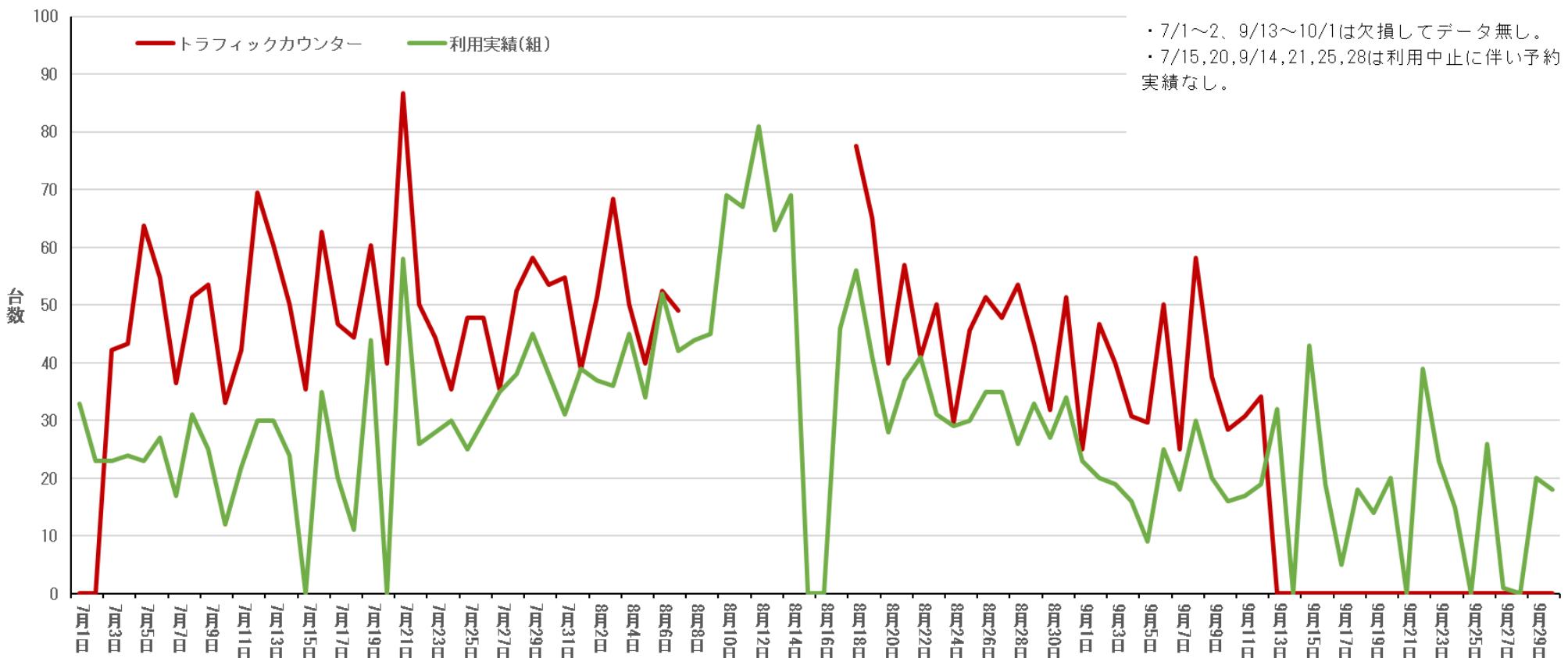
## 3. 2025年度の交通量調査結果に基づくカムイワッカ地区の駐車需要台数の推定

道道に設置したトラフィックカウンターによる通過台数と、知床五湖駐車場の入込から算出した推定モデルを図示。



## 4. 2025年度の交通量調査結果と2025年度の予約実績（組数）

道道に設置したトラフィックカウンターの通過台数（青線）とカムイワッカ湯の滝登りの予約組数（赤線）との関係を図示。予約組数からカウンターの通過台数を減じた値を予約なしの見学者と判定。駐車車両の内、約3割が予約なしで訪れている見学者や登山者と推定される。



## 5. カムイワッカ地区の滞在時間

林道に設置したトラフィックカウンターからR(入)とL(出)を計測し、カムイワッカ地区での車両の滞在時間を算出した。

2025年度の運用方法では車両当たり約1時間～1.5時間が主な滞在時間となる。

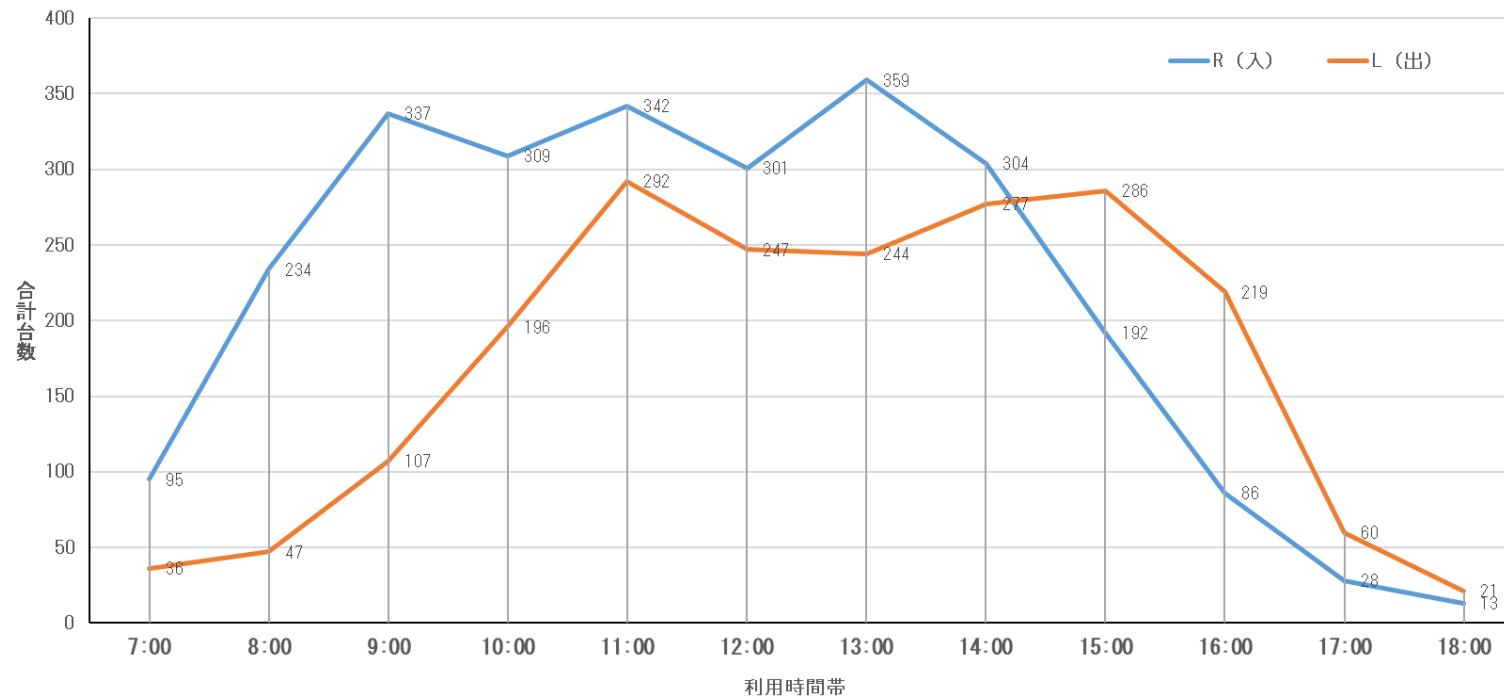


表 時間帯別のRLの相関(滞在1.5時間の場合)

	R(入)	L(出)
R(入)	1	
L(出)	0.89592	1

表 時間帯別のRLの相関(滞在1時間の場合)

	R(入)	L(出)
R(入)	1	
L(出)	0.93465	1